

第72回西日本生理学会

日 時：令和3年11月5日（金）～6日（土）
場 所：オンライン開催（Zoom）
当 番 幹 事：熊本大学大学院生命科学研究部 富澤一仁，宋 文杰
演 題 数：23題
参加登録者：74名

第72回西日本生理学会は、熊本大学を当番校とした。当初は熊本市市民会館シアーズホームホールにて開催予定であったが、コロナ禍の制約を考慮してオンライン開催とした。会場代が不要となったため、参加費は無料とした。74名の参加登録と、23題の演題登録（うち九州奨励賞審査対象2題、学部学生演題4題）があった。昨年度にコロナ禍で初めて西日本生理学会をオンライン開催された今井 猛教授（九州大学）による開催記録のおかげで、本学会の準備を円滑に進めることができた。今井 猛教授にこの場をお借りして厚くお礼申し上げたい。2年近くに及ぶコロナ禍により、学会等のオンライン開催も定着しつつあり、オンラインツールの普及および全く新しい作動原理の mRNA ワクチンの実用化は、コロナ禍の社会の数少ない収穫と考えられる。一方で、きめ細かなコミュニケーションや人的ネットワーク形成は直接会うことで可能となる部分もあり、今後も対面とオンラインの適切な使い分けは重要であろう。

学会1日目の冒頭では、37歳以下の若手研究者や学生を対象とした「日本生理学会九州奨励賞」の審査セッションを行った。5名の審査委員の厳正なる審査の結果、浪花真子氏（九州歯科大学生理学分野）の「ステロイド軟膏による口内炎疼痛抑制メカニズムの解明」が受賞となった。もう1名の発表者の内容も質の高い内容であり、僅差での決定となった。総会では、評議員会での決定事項の報告、次回西日本生理学会の幹事校が調整中である旨の報告、若手向けの日本生理学会の奨励賞と入澤記念若手賞の案内があった。総会后、奨励賞の授賞式を行った。2日目の正午に全プログラムが終了し、Zoomのギャラリービューによる写真撮影を行った。

開催に際して、準備の事務作業は中條岳志氏に、運営補助は金子 瞳氏、西村方孝氏、永田裕子氏、西口栞世氏、田代ゆか氏にお手伝いいただいた。学会参加者の皆様、評議員会報告・座長・審査委員を引き受けて下さった皆様、ならびに運営に携わった皆様に厚くお礼を申し上げたい。以上、本学会の最終報告とする。

地方会抄録はウェブページ <http://physiology.jp/nisseishi/> に掲載させていただくことになりました。（Pt 2）p. 14～p. 21 をご覧ください。